









大 牟 田 市まちづくり総合プラン



はじめに

グローバル化に伴う社会経済状況の急速な変化、地球規模の環境問題、更には市民の安心安全な暮らしへの希求など、本市を取り巻く環境は目まぐるしく移り変わっています。 更に、平成20年にはじまった日本の人口減少は、今後、年少人口の減少と老年人口の増加を伴いながら、加速度的に進行していくことが予測されており、これは本市にとっても例外ではありません。

人口減少は、子育て、老後、消費、医療・介護、産業、まちづくりなど、社会の仕組みや市民一人ひとりの生活にあらゆる角度から広範に影響を及ぼします。

このような状況の下、本市では、総合的かつ計画的にまちづくりを進めていくための指針として、第5次総合計画「まちづくり総合プラン」を策定しました。将来への期待や希望が持て、そして誰もが住みやすく、あらゆる世代が成長できるまちづくりに取り組んでいきます。

大牟田には豊かな自然があります。暮らしやすい生活環境があります。高齢者を支える優しさがあります。企業があり仕事もあります。まちの誇りであり、世界文化遺産となった三池炭鉱関連資産があります。そして何よりかけがえのない「人」がいます。どのようなまちづくりを進めていこうとも、それを支えていくのはそこに住む人です。



そこで、大牟田市は、人に焦点を当て、「人が育ち、人でにぎわい、人を大切にする ほっとシティおおむた」の都市像のもと、子どもを産み育てたいと思ってもらえるような 環境づくりと未来の大牟田を担う人材の育成、産業の多様化と雇用の場の確保をはじめと する様々な取組みを進めていきます。

人口減少が進む中においては、行政だけではなく、企業、団体、市民のそれぞれが人口減少に対する危機感を共有し、まちづくりの当事者としての意識を持ち、行動を変えていくことが求められてきます。そして、この人口減少対策は、一朝一夕に効果が出るものでもありません。地道な取組みを積み重ねていくことこそが大切です。

平成29年3月1日に、大牟田市は市制100周年の大きな節目を迎えます。

先人達が築き上げた100年の歴史と礎の上に暮らす私たちは、次の100年に思いを馳せながら、私たちの子や孫、更に次の世代が暮らす社会が持続発展可能となるよう、人口減少の問題をはじめとして、直面する様々な課題に対し、同じ目標を持って共に取組みを進めていくことが大事であると考えています。

皆さん、一緒に大牟田の未来を切り拓いていきましょう。

平成28年8月 大牟田市長 中尾 昌弘





「ぼくたち、私たちが描く未来のまち・おおむた」市長賞 白川小学校6年 矢野愛弓さん (平成26年度当時)

目次

計画東定の息義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
Ⅱ 目指す都市像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
Ⅲ 計画の位置付け及び期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
IV 人口 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12
V 土地利用の方向性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	13
VI 都市像実現のために4年間で取り組む施策 ·····	14
1. 本市を取り巻く社会背景と課題 ・・・・・・・・・・・・	14
2. 大牟田市総合計画2006~2015のふり返り‥‥	18
3. まちづくり総合プラン施策体系図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
4. 基本目標達成のための施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
第1編 はぐくみ	25
第2編 にぎわい	45
第3編 やさしさ	59
第4編 くらし	71
第5編 あんしん	87
計画の実現に向けて	101
施策の成果目標一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110
	110